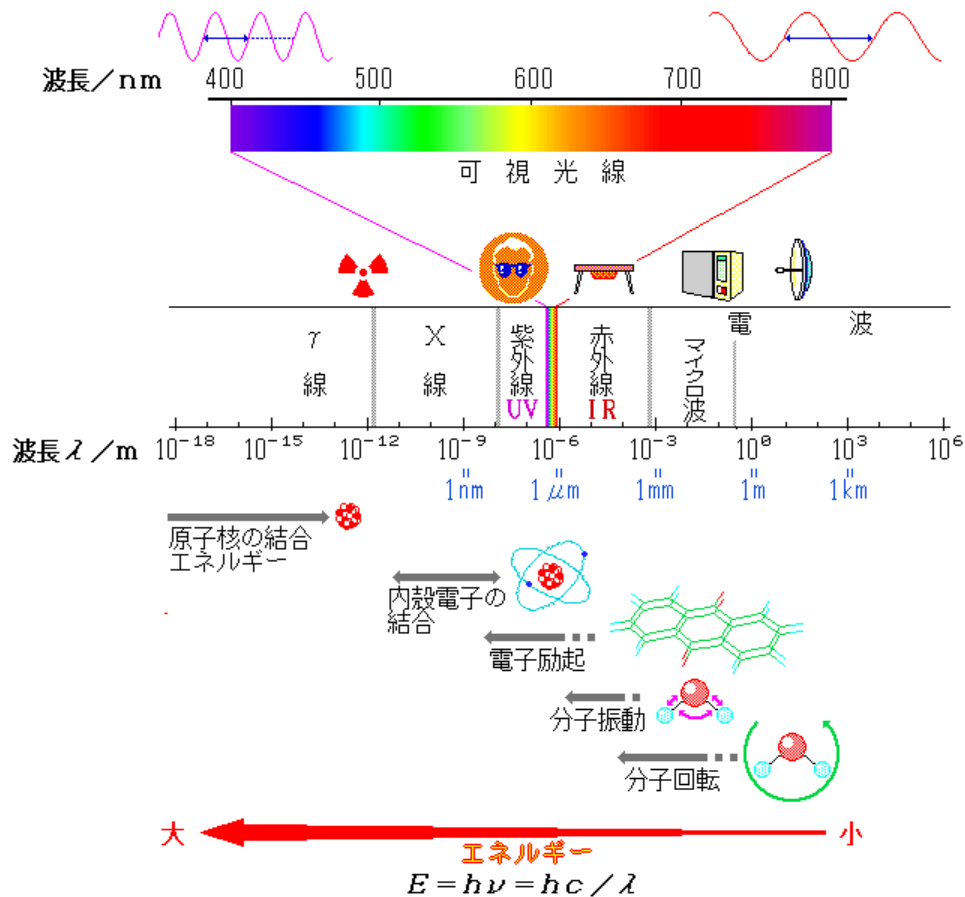


図 13・5 強め合う干渉が起こる角度を測定することによって、スリット系の間隔  $d$  を決めることができる。(  $\lambda = d$  であれば、写真乾板の上の  $\sin \theta = n\lambda/d$  の所に多くの回折線が観測される)

パーロー: 物理化学(東京化学同人)



ブルーボックス: 動く分子事典

電磁波(光)の波長とエネルギー

電気陰性度

H 2.1							He
Li 1.0	Be 1.5	B 2.0	C 2.5	N 3.0	O 3.5	F 3.9	Ne
Na 0.9	Mg 1.2	Al 1.5	Si 1.8	P 2.1	S 2.5	Cl 3.0	Ar
K 0.8	Ca 1.0	Ga 1.8	Ge 1.8	As 2.0	Se 2.4	Br 2.8	Kr 2.9